

**資料3****まち・ひと・しごと創生基本方針2019について（概要）****1 第1期における地方創生の現状等****（1）第1期の地方創生の取組**

ほぼ全ての地方公共団体で「地方版総合戦略」策定し、取組を推進。

国は、情報支援・人材支援・財政支援（「地方創生版・三本の矢」）等を実施。

**（2）地方創生をめぐる現状認識****①人口減少・少子高齢化**

ア 総人口：2008年をピークに減少局面。1億2,644万人（2018年）。

イ 生産年齢人口：7,785万人（2014年）→7,545万人（2018年）（240万人減）

ウ 就業者数：6,371万人（2014年）→6,664万人（2018年）（293万人増）

エ 出生数：100.4万人（2014年）→92.1万人（2018年）。

**②東京一極集中の継続**

ア 転入超過数：13.6万人、転出者数：35.5万人、転入者数：49.1万人（2018年）

イ 東京圏の人口：3,658万人（2018年）。全人口の約3割が集中。

**③地域経済の現状**

ア 雇用・所得環境が改善。一方で、中小企業において人手不足感が深刻化。

イ 訪日外国人旅行者数、農林水産物・食品輸出額が増大。

**（3）地方創生に関連する将来の見通し ～直近及び中長期の将来見通しを考慮～**

ア 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（2020年）の開催等。

イ 高齢者人口は、2042年にピークの見通し。

ウ 情報通信技術の進展。リニア中央新幹線の開業に伴うスーパー・メガリージョンの形成。

## 2 第2期に向けての基本的な考え方

### (1) 全体の枠組

「継続を力にする」という姿勢で、まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（長期ビジョン）とまち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）の枠組を引き続き維持。

### (2) 検証を踏まえた検討の方向性

#### ① 4つの基本目標

- ア 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- イ 地方への新しいひとの流れをつくる
- ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- エ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

■ 4つの基本目標について、現行の枠組を基本的に維持しつつ、必要な強化を行う。

■ 4つの基本目標において、「人材を育て活かす」「誰もが活躍できる地域社会をつくる」ことを位置付け。

#### ② 「まち」「ひと」「しごと」の好循環

■ 第1期の「しごと」を起点としたアプローチに加え、「まち」「ひと」「しごと」という多様なアプローチを柔軟に実施。

#### ③ 5つの政策原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）

■ 5つの政策原則について、基本を維持しつつ、「連携」の位置付けを明確化。

#### ④ 情報支援・人材支援・財政支援（「地方創生版・三本の矢」）

■ 従来の枠組を維持しつつ、人材支援の強化と地方創生関係交付金について必要な見直しを実施。

### (3) 第2期における新たな視点

#### ① 民間と協働する

・ 地方公共団体に加え、NPO等の地域づくりを担う組織や企業と連携。

#### ② 人材を育て活かす

・ 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を強化。

#### ③ 新しい時代の流れを力にする

- ・ Society5.0の実現に向けた技術の活用を横断分野として位置付け、強力に推進。
- ・ SDGsを原動力とした地方創生をより一層充実・強化。

#### ④ 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ・ 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」を創出・拡大。
- ・ 志ある企業や個人による地方への寄附・投資等により地方への資金の流れを強化。

#### ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる

・ 女性、高齢者、障害者、外国人等誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

#### ⑥ 地域経営の視点で取り組む

・ 地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

### **3 各分野の当面の主要な取組**

**第2期では、第1期の取組の本格化と、次の取組を推進。**

#### **(1) 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、 これを支える人材を育て活かす**

- ①地方企業の成長を担う人材の地域展開
- ②新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展
- ③「海外から稼ぐ」地方創生
- ④地方創生を担う組織との協働
- ⑤高等学校・大学等における人材育成

#### **(2) 地方への新しいひとの流れをつくる**

- ①地方への企業の本社機能移転の強化
- ②企業版ふるさと納税の活用促進による民間資金の地方還流
- ③「関係人口」の創出・拡大
- ④地方公共団体への民間人材派遣
- ⑤地方の暮らしの情報発信の強化

#### **(3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、 誰もが活躍できる地域社会をつくる**

- ①個々人の希望をかなえる少子化対策
- ②女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり

#### **(4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する**

- ①交流を支え、生み出す地域づくり
- ②マネジメントによる高付加価値化
- ③Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ④スポーツ・健康まちづくりの推進